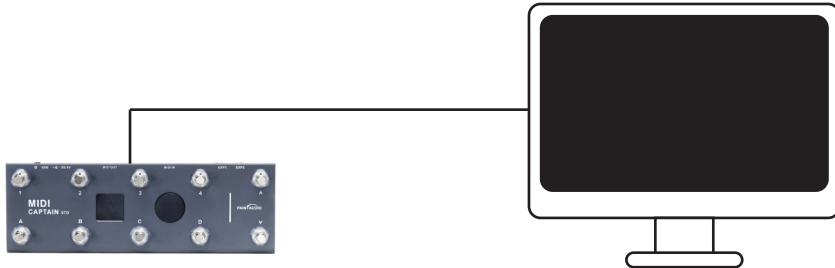


# プリセットモードのカスタム設定について

MIDI CAPTAIN には KPP、BIASFX、HX Stomp、AXE FX、Quad Cortex などに最適化されたプリセットモードが搭載されていますが、別の PC#、CC# に変更したいという問い合わせも頂くのでここではプリセットモード内のスイッチ設定変更の手順を解説致します。



## MIDI CAPTAIN を mac もしくは Windows パソコンと USB 接続

(別途 USB-C 変換アダプターが必要) スイッチ「1」を押したままスイッチを入れて USB SETUP モードを起動して下さい。

USB SETUP モードの画面が表示したらデスクトップ画面にアイコンが出てきますのでアイコンをダブルクリックしてカスタム設定したいプリセットモードのテキストファイルを編集します。ここでは Quad Cortex モードの設定編集ファイルを開きます。

Quad Cortex モードをカスタム設定する場所は「setup フォルダ」→「GlobalSetup10.txt」です。

A screenshot of a file explorer window. The left pane shows a file tree with folders like 'fonts', 'geeksetup', 'lib', 'license', 'res', 'setup', 'superssetup', 'TIME\_TRACK', and 'wallpaper'. The 'setup' folder is selected, and its contents are shown in the middle pane: 'GlobalSetup1.txt' through 'GlobalSetup9.txt', 'GlobalSetup10.txt' (highlighted), 'preset1' through 'preset10'. The right pane shows the contents of 'GlobalSetup10.txt', which is a text file with various settings like 'CURRENT\_PRESET= [10] # Do not change...', 'PRESET\_NAME = [Quadx] # Any Name with length', 'DARK\_FONTS = [OFF] # ON: the main screen font is dark color type.', etc. Below the text, there is a metadata section for 'GlobalSetup10.txt' showing '作成日' (Created) as 2024年4月7日 日曜日 16:54, '変更日' (Modified) as 2024年4月7日 日曜日 16:54, and '最後に開いた日' (Last opened) as 2025年8月25日 月曜日 18:01.



#### **MIDI\_CHANNEL = [1]**

現在のプリセットの全 MIDI コマンドのチャンネルを設定します。

各プリセットで異なるチャンネルを設定可能（Geek モードではマルチコマンドセットの各コマンドごとに異なるチャンネル設定可）

#### **PC\_NUM\_START = [0]**

PC コマンドの全体オフセットを設定します。0 または 1、つまり 0 または 1 から開始します。

これはホストデバイスとの番号調整に便利です。

#### **MIDI\_THROUGH = [ON]**

ON に設定すると、受信した外部 MIDI IN メッセージをリアルタイムで MIDI OUT にバイパスします。

#### **POWER\_ON\_PIC = [2]**

起動時に表示される画像が 3 種類用意されております。

#### **POWER\_ON\_TEXT = [MIDI CAPTAIN]**

起動時に表示される虹色のテキストもカスタマイズ可能です。12 文字以内で任意の内容を設定できます。

このデバイスを友人への素敵なプレゼントにしましょう。

#### **BANK\_STEP = [4]**

PC コマンドのスパン。1 ~ 8 のいずれかを設定可能。一般的な設定は 4、3、5 です。

ヒント：1 に設定し、次の BANK\_SEND オプションを ON にすると、1 つずつ上下にブラウズできます。

#### **BANK\_SEND = [OFF]**

上下キー押下直後に新規グループの PC 値を送信するか否か。デフォルトは OFF。

#### **EXP1\_CC# = [7]**

エクスプレッションペダル 1 の CC コントロール番号。編集可能範囲は 0 ~ 127。

#### **EXP2\_CC# = [9]**

エクスプレッションペダル 2 の CC コントロール番号、編集可能範囲は 0 ~ 127。

#### **WHEEL\_MANUAL = [ON]**

エンコーダーホイールの PC 制御機能をオン / オフします。デフォルトはオンです。

足を踏んだ際にホイールが誤って触れる可能性があるため、懸念がある場合はオフにできます。

#### **TIME\_ENGINE = [OFF]**

タイムエンジン機能をオン / オフします。

#### **TIME\_TRACK = [1]**

タイムエンジンのトラックを選択します。各プリセットには 10 トラックが用意されています。

#### **LOOP\_REPEAT = [OFF]**

タイムエンジントラック再生時の自動リピート機能の有無。リピート開始点は録音ボタン押下時点であり、

最初の切り替え操作時点ではないため、連続再生ループが必要な場合は、

録音ボタン押下直後に素早く最初の切り替え操作を行えば問題ありません。

#### **WALLPAPER = [1]**

20 種類の壁紙から選択可能。各プリセットで異なる設定が可能。変更可能範囲は 0 ~ 19。

#### **WIRELESS\_dB = [6]**

無線送信電力設定。デフォルトは 6（0dB 相当）。

参考値：0:12dBm 1:10dBm 2:9dBm 3:8dBm 4:6dBm 5:3dBm 6:0dBm 7:-2dBm 8:-5dBm 9:-10dBm

10: -15dBm 11:-20dBm 12:-25dBm 13:-30dBm 14:-25dBm

以上の必要な設定を編集して上書き保存するとテンプレートファイルが現れますが

編集が終わって テキストファイルをすべて終了してから削除してください。

不安であればそのままでも問題ありません。

Windows,mac それぞれ正しい手順で切断して再起動してご使用ください。

# プリセットスイッチ設定手順

次はプリセットモードの各スイッチの

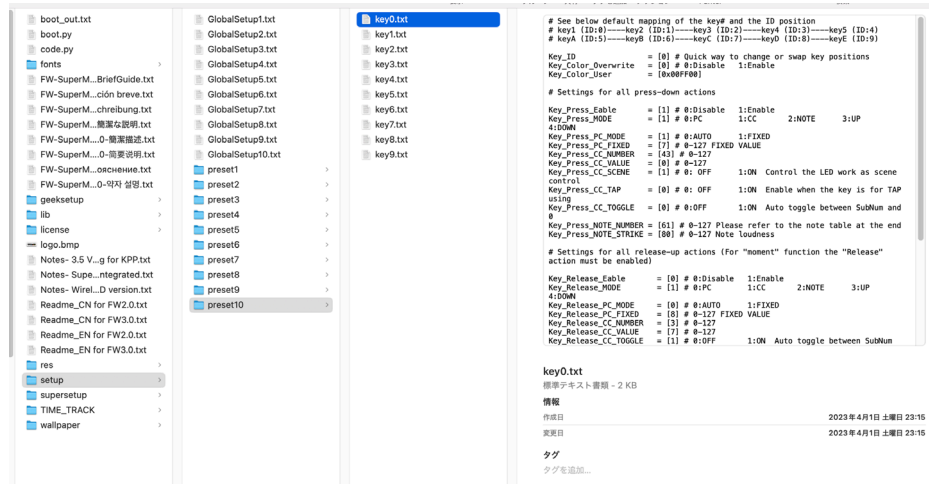
PC ナンバー、CC ナンバー、NT ナンバーの

設定手順を解説します。

たとえば Quad Cortex モードの割り当て設定を

変更したい場合は setup フォルダ→preset10 フォルダ内の

各スイッチのテキストファイルを編集します。



```

Key_Press_Eable = [1] # 0:Disable 1:Enable
Key_Press_MODE = [1] # 0:PC 1:CC 2:NOTE 3:UP 4:DOWN
Key_Press_PC_MODE = [1] # 0:AUTO 1:FIXED
Key_Press_PC_FIXED = [7] # 0-127 FIXED VALUE
Key_Press_CC_NUMBER = [43] # 0-127
Key_Press_CC_VALUE = [0] # 0-127
Key_Press_CC_SCENE = [1] # 0: OFF 1:ON Control the LED work as scene control
Key_Press_CC_TAP = [0] # 0: OFF 1:ON Enable when the key is for TAP using
Key_Press_CC_TOGGLE = [0] # 0:OFF 1:ON Auto toggle between SubNum and 0
Key_Press_NOTE_NUMBER = [61] # 0-127 Please refer to the note table at the end
Key_Press_NOTE_STRIKE = [80] # 0-127 Note loudness
    
```

# Settings for all release-up actions (For "moment" function the "Release" action must be enabled)

```

Key_Release_Eable = [0] # 0:Disable 1:Enable
Key_Release_MODE = [1] # 0:PC 1:CC 2:NOTE 3:UP 4:DOWN
Key_Release_PC_MODE = [0] # 0:AUTO 1:FIXED
Key_Release_PC_FIXED = [8] # 0-127 FIXED VALUE
Key_Release_CC_NUMBER = [3] # 0-127
Key_Release_CC_VALUE = [7] # 0-127
Key_Release_CC_TOGGLE = [1] # 0:OFF 1:ON Auto toggle between SubNum and 0
Key_Release_NOTE_NUMBER = [61] # 0-127 Please refer to the following note table
Key_Release_NOTE_STRIKE = [80] # 0-127 Note loudness
    
```

# MIDI NOTE TABLE

Octave	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
3	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
4	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
5	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
6	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83
7	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
8	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107
9	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
10	120	121	122	123	124	125	126	127				

上記のテキストファイルを編集して設定を行います。[ ]内の数値、ON、OFF、を編集します。

※[ ]内以外の箇所は編集しないで下さい。動作しなくなる可能性がございます。※

「KEY-PRESS」はスイッチを押すと信号が送信。「KEY-RELEASE」はスイッチを押して離すと信号が送信。つまり一つのスイッチに対して瞬間的に2つの信号が送信可能です。

この機能を「モメントモード」と呼びます。「モメントモード」が不要の場合は

KEY Release\_Eable=[0]で設定すると「モメントモード」がOFFになり、通常のワンプッシュで一つの信号が送れます。「KEY Release」の一覧は編集不要です。

ここではもっともよく使用される「KEY PRESS」一覧を解説します。

### Key\_Press\_Eable = [1]

ワンプッシュによる信号送信の ON/OFF 設定です。

[1] は ON、[0] は OFF 設定するとフットスイッチを押しても動作しません。

### Key\_Press\_MODE = [1]

MIDI コマンドの種類または機能を設定します。PC モードは [0]、CC モードは [1] NT モードは [2]、PAGE UP コマンドは [3]、PAGE DOWN コマンドは [4] で設定。

### Key\_Press\_PC\_MODE = [1]

PC タイプに設定時、0 はグループ番号とフットスイッチの位置に基づき現在の PC 値を自動生成、1 は完全に固定された PC 値を使用。

### Key\_Press\_PC\_FIXED = [7]

上記の固定 PC 値を使用する場合の対応する PC 値設定です。編集可能範囲は 0 ~ 127 です。

### Key\_Press\_CC\_NUMBER = [21]

CC ナンバーを設定します。編集可能範囲は 0 ~ 127

### Key\_Press\_CC\_VALUE = [127]

上記 CC ナンバーと同時に送信する Value ナンバーを設定。範囲は 0 ~ 127

### Key\_Press\_CC\_TOGGLE = [0]

トグルモードの ON/OFF 設定です。ON に設定する場合は「1」、OFF にする場合は「0」に設定。

### Key\_Press\_NOTE\_NUMBER = [60]

「MIDI NOTE TABLE」を確認しながらノートナンバーを設定します。

MIDI NOTE TABLE を確認しながら入力してください。

例：「1 オクターブ」の「G (ソ)」を設定したい場合はノートナンバーは「18」

「4 オクターブ」の「D (レ)」を設定したい場合はノートナンバーは「49」

「6 オクターブ」の「A (ラ)」を設定したい場合はノートナンバーは「80」

### Key\_Press\_NOTE\_STRIKE = [127]

対応するノートコマンドの音量の強弱を設定。編集可能範囲は 0 から 127。

「モメントモード」を使用したい場合は KEY Release\_Eable=[1] に設定して  
その他 Key Release 一覧の CC ナンバーもしくは PC ナンバー、必要に応じて  
ノートナンバーを設定してください。

以上の必要な設定を編集して上書き保存するとテンプレートファイルが現れますが  
編集が終わって テキストファイルをすべて終了してから削除してください。  
不安であればそのままでも問題ありません。

Windows,mac それぞれ正しい手順で切断して再起動してご使用ください。